

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52306	保育内容(環境) Child-care Contents (Environment)	岡田 真智子 伊藤 照美	専門	1	必修	1年 前期
科目の概要						
この授業では保育者として求められる保育内容の領域環境を学ぶものである。周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うために、環境を通して子どもの成長発達を促す環境を探索し、子どもを取り巻く身近な環境(自然・社会・遊び・文化など)について理解する。指針、要領に示す領域環境の構成は、どのようにすればよいか、視聴覚機器を活用し、領域環境の講義を基礎におき学習する。体験学習として、野菜の栽培、自然観察等の具体的な指導方法を体験や視聴覚教材を活用し、「環境」の理解や、生命の大切さ尊さに気づき保育者として幼児に伝える重要性を理解し、専門的知識と技能を習得しその活用方を学ぶ。★公立園の保育士としての実務経験があり、保育を進める上で環境による保育の重要性を意識し日々実践を行っていたことを活かした講義や実践的な演習を行う。						
学修内容			到達目標			
① 領域環境とは何か、子どもにとって環境構成とはどのような意味があるのかを学習し指導場面を想定して保育を構想する方法を身に着ける。			① 保育における領域環境は子どもにとってどのような意味を成すのかを理解しその指導場面を想定して保育を構想する方法を身に着けることができるようになる。			
② 幼稚園教育要領・保育所保育指針における「環境」領域のねらいと内容や指導上の留意点を理解する。			② 幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域環境のねらいと内容や指導上の留意点を理解する。			
③ 幼児の認識や思考動き等を視野に入れた保育を構成する方法を身に着けるために自然観察や子どもとの関わりを通しての指導計画の作成、実践や視聴覚教材を使用しての指導法等を身につける。			③ 幼児の認識や思考動き等を視野に入れた保育を構成する方法を身に着けるために自然観察を子どもとの関わりを通しての指導計画作成、実践や視聴覚教材を使用しての指導法等を修得する。			
④ 幼児期の特性を理解し、各領域との関連性を考慮しねらい内容を理解し総合的に保育を構想することができる。			④ 幼児期発達の特性を理解し、各領域との関連性を考慮しねらい内容を理解し総合的に保育を構想することができるようになる。			
⑤ 安全教育、近隣社会、小学校との関連性等を理解しに幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにする。			⑤ 安全教育、近隣社会、小学校との関連性を理解し幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現できるように取り組むことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例				
前に踏み出す力	主体性	環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。				
	働きかけ力					
	実行力	身の回りの環境に対して常に気にかけて保育内容に関連付けて考えた行動がとれる。				
考え抜く力	課題発見力	保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。				
	計画力					
	創造力	課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。				
チームで働く力	発信力	自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。				
	傾聴力	話を丁寧に聞き、相手の言いたいことを整理できていた。さらに、適切な意見を述べ、相手の考えや意見を引き出すことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	グループ活動に対して役割意識を持ち積極的に参加し円滑にできるようにする。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:保育内容「環境」(第3版)(株)みらい 参考文献:「幼稚園教育要領解説平成30年3月」保育内容環境・「保育所保育指針解説書平成30年3月」「幼保連携型認定こども園保育教育要領平成30年3月」						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:保育内容総論、保育内容(健康)、保育内容(人間関係)、保育内容(表現)、保育内容(言葉) 資格との関連:幼稚園教諭2種・保育士資格						
学修上の助言			受講生とのルール			
自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。 身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。			テキストや指針や要領を必ず持参のこと 毎回演習を行うための準備を済ませ事業に臨むこと 授業以外でも自主的に観察や世話を進んで行う			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
小テスト	30	①	✓	保育における環境を理解する 幼保連携型認定こども園教育・幼稚園教育要領解説書・保育所保育指針解説平成30年3月の領域環境について理解する。 植物、小動物に関心を持ち理解を深める
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
レポート	20	①		生き物の飼育方法や保育室の環境構成のレポート 指導計画の作成各10点
		②		
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	20	①		チームで協力し、意欲的に取り組みができる。5点 演習支度に不備がない。5点 演習作業に対し積極的に取り組み成果が結果として表れている。10点
		②		
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品	20	①	✓	観察ノート作成が規定通りに取り組むことができている。5点 独自に調べ工夫して作成することができる。5点 植物の生長を観察する力が育ち、保育に活用できる。5点 環境の理解、命の大切さや尊さを生活の中でどのように関連させていくかを記述できる。5点
		②		
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。 (実行力)畑や花壇の様子を気にかけて授業以外でも世話ができる。 (課題発見力)保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。 (創造力)課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。 (発信力)自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。 (傾聴力)相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。 (規律性)授業は無断欠席、遅刻、私語など慎み、グループ活動に対して役割意識を持ち積極的に参加し円滑にできる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
保育内容環境を理解し保育の内容を意識して構成する力を持ち、また、チームで積極的に花壇作りに取り組み、植物の生育に対する観察、考察等深めており、保育者を意識した取組ができている点を総合評価し90点以上はS(秀)、89～80はA(優)とする。	作品、レポートなど課題に対しきちんと取り組み保育者を意識した取り組みができている点を総合評価し79～70はB(良)、69～60はC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 「環境とはなにか」について考える。	講義 本日の振り返りと質疑応答	授業の目的、内容、進め方について理解し今後の作業方法、身支度などの準備の仕方を知る。保育内容環境について理解する。	(予習) テキストのはじめにを読んでおく	90	計画力
2週 /	保育と環境について こどもにとっての環境の意味 発達にふさわしい環境の構成とは	講義 グループディスカッション「環境とは何を意味するのか」 本日の振り返りと質疑応答	子どもにとっての環境とは日常で使われる環境との違いを理解し、子どもの発達にとっての重要性を理解する。	(予習) テキストを読んでおく p20～32p (復習) 観察記録ノート作成	45 45	状況把握力
3週 /	領域「環境」のとらえ方 (幼児にとっての環境に意味を考える)	講義 グループディスカッション「環境を通して行う教育保育の基本とは」 本日の振り返りと質疑応答	子どもの発達にとってふさわしい環境とは何か子どもの発達の歴史や特性子ども達の育ちを踏まえながら、環境の構成について考える。	(予習) テキストを読んでおく p20～32 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	計画力 発信力
4週 /	領域「環境」のねらいと内容について (幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から)	講義 グループディスカッション「指針、要領の環境とは」 本日の振り返りと質疑応答	幼稚園教育要領・保育所保育指針における「環境」とは、新しい時代に向けた保育「環境」とはについて学ぶ。	(予習) 指針要領の環境のねらい内容を読む。 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	計画力 発信力
5週 /	植物に触れる環境構成① 部分指導案作成「園児との苗差し」	講義 グループディスカッション「指導案について」 本日の振り返りと質疑応答	保育者は豊かな構想のもと、子どもたちの身近な環境を構成する役割を担う。自然環境に接するための工夫も欠かせないことを理解する。	(予習) テキストを読んでおく p20～32 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
6週 /	遊びと環境構成② 実践体験(園児とかかわる(保育体験後振り返りを行う))	講義 グループディスカッション「保育体験を振り返り」 本日の振り返りと質疑応答	遊びのきっかけとなる環境構成を考えたり、遊びを持続させる環境についても考えたりする。	(予習) テキストを読んでおく p38～41 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
7週 /	人的・物的・自然的環境について (事例考察から人間・物的環境を学ぶ)	講義 グループディスカッション「人的、物的環境とは」 本日の振り返りと質疑応答	作業と関連づけ自然環境を生かした保育活動についてイメージする。人的環境と物的環境の重要な意味について学習する	(予習) テキストを読んでおく p42～52 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
8週 /	教材について環境構成③ (環境をデザイン作成において教材研究し保育環境の構想を具体化し指導計画案作成)	講義 グループディスカッション「幼児の環境構成について」 本日の振り返りと質疑応答	楽しさは保育の基本である。屋内外の環境をデザインすることは、子どもの生活や遊びを豊かにするために必要と考え計画する	(予習) 保育環境をどのように構成するかを考えておく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	自然環境の構成④ (生きもののかかわりについての教材研究と指導計画構想案作成)	講義 グループディスカッション「生き物とかかわる教材について」 本日の振り返りと質疑応答	動物や昆虫類は、動くことから「生きている」ということが、子どもでも容易に理解できる。生命に対する親しみを養うことを普段の生活の中から見つけていくことを教える必要性を理解する。	(予習) 保育環境に必要な生き物の飼育方法について情報を集めておく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
10週 /	社会の文化(社会的環境)	講義 グループディスカッション「幼児に伝えたい文化とは」 本日の振り返りと質疑応答	文化は、衣食住に関するすべての生活習慣にかかわるものである。「家庭の文化」、「伝えたい文化」について考える。	(予習) テキストを読み文化について情報収集しておくp101～115 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
11週 /	生活と遊び (身近にあるものを活用した保育内容を考え保育指導案作成し模擬保育へ)	講義 グループディスカッション「指導計画、模擬保育について」 本日の振り返りと質疑応答	遊びは、結果よりもそのプロセスにおける刺激や充実感を楽しみ満足感を得る。子どもが面白がって夢中で取り組む活動を考える	(予習) テキストを読んでおくp84～100 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
12週 /	生活と繋がる文字や数量 (視聴覚教材を使用して遊びながら学ぶ方法体験し小学校教育へのつながりを意識する。)	講義 グループディスカッション「文字や数を生活にとつなげるには」 本日の振り返りと質疑応答	乳幼児期では、普段の生活の中で具体的なものと関連づけて文字や数を理解することが大切であることを学ぶ。	(予習) テキストを読んでおくp101～118 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
13週 /	地域環境(近隣社会との連携) (生活に関係の深い情報や施設に対して関心を持ち小学校との連携の重要性を理解する。)	講義 グループディスカッション「近隣社会とのつながりについて」 本日の振り返りと質疑応答	園外保育として地域の施設利用も視野に入れ、地域の住民や社会資源との直接のかかわりを持つことは、感謝の気持ちを持つためにも重要な意味を持つことを理解する。	(予習) 地域の環境にはどのようなことがあるのか調べる (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
14週 /	安全教育 (視聴覚教材を利用した安全教育に関する教材作成を通して子どもに伝える方法を学ぶ)	講義 グループディスカッション「安全教育についての指導法」 本日の振り返りと質疑応答	安全教育の基本は、日々の遊びや生活・保育の中にある。教育要領や保育指針の中には安全な生活にかかわるねらいや内容がしっかり位置づけられていることを知る。	(予習) テキストを読んでおくp119～126 (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
15週 /	環境に関わる課題について 授業の振り返りを行う	講義 グループディスカッション「今までの学びの振り返り」	保育者は率先して地域の人々と挨拶を交わすなど、日頃から地域の人とのかかわりを大切にすることや、小学校との連携も考えていくことを理解する。	(予習) 近隣社会資源の情報を集める	90	発信力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力